

あおによし奈良の都



銅 444 トン、錫 8 トン、金メッキのための金 440 kg、当時の人口の半数近く of 延べ 260 万人以上を動員した大事業。752 年の大仏開眼供養のあと、幾多の災禍に遭い、現在、目にする頭部は、江戸時代に再建されたものだという。

「仏教の力で国を安定させたい」「世のすみずみまで光を届けたい」という天平の願いがこめられた廬舎那仏。今もなお、日本の歴史を静かに見守っている。

会員 田中 みどり (47 期)

